

1 教育目的

- ・ 本教育は、2部構成で実施する。
- ・ 1部は避難所運営及び救助・避難誘導並びに避難者対応の実践的な内容を地域と関係団体と共に実施する。
- ・ 2部は、岐阜市民病院の医師を講師にお招きし、本荘中学校の災害時の役割、災害時の地域連携の大切さなどの講演を実施する。また、岐阜大学准教授及び学生をお招きし、災害リスクマップを参考に「何をしなければいけないのか」考えるきっかけを作って頂くとともに、アンケート調査を行う。
- ・ 災害を身近なことと考え、「傾聴と共感」を忘れず目配り、気配り、心配りのできる支援者、救助者となってもらうことを目的に行う。

2 開催日時

(1) 令和5年11月15日(水) 9時30分～11時30分

(2) 令和5年11月15日(水) 13時30分～16時00分

※中部2ブロックの研修として午前中に「災害食セミナー」を実施予定。

3 開催場所

(1) 午前の部 本荘公民館

(2) 本荘中学校体育館及び本荘中学校周辺

4 参加・協力団体

(1) 本荘自治会連合会の皆様

(2) 中部2ブロック自主防災隊(団)(徹明、本郷、木之本、本荘、鏡島)防災担当者

(3) 岐阜市社会福祉協議会

(4) 岐阜市地域包括支援センター三里本荘

(5) 株式会社エスイーアイ

(6) 岐阜市民病院※DMAT

(7) 岐阜市消防本部 中消防署精華分署

(8) 本荘中学校2年生及び教職員

5 概要(午前・午後)

午前 地域の防災担当を対象に、一般社団法人ぎふおウチゴハン協会を講師にお招きし災害食セミナー(食物アレルギー対応のバッククッキングのすすめ)を開催。

午後(1部): 避難所運営

- ・ 13時30分頃、震度6弱の地震が発生したとの想定で、訓練を開始する。
- ・ なお、被害が広域にわたり、岐阜市民病院から軽症者(トリアージ緑タグ)や他地域からの避難者が避難してくるため、本荘中学校体育館を避難所と救護所の両立を行う。
- ・ 地域防災担当者だけでは避難所運営の人手が足りないため、避難所として開設された本荘中学校体育館で地域防災担当者と本荘中学校2年生の生徒が共に避難所運営を行う。
- ・ 中学生は、避難所内の運営のみならず、避難してくる負傷者や要配慮者の対応を行う。

- ・ また、本荘中学校周辺の避難場所や住宅に避難者が存在するため自主防災隊（団）員等と共に安否確認・避難誘導など行い避難所運営を行う。

2部：防災講話

- (1) 岐阜市民病院 心臓血管外科部長 災害医療部長 様
- (2) 岐阜大学 小山 研究室

6 時系列 ※今後の調整で変更の可能性あり

(午前)

【9：30】参加者集合、セミナー開催

【11：00】災害食（バッククッキング）完成～試食

【11：30】終了

(午後)

【12：15】 関係スタッフ集合（資機材等準備）

- ・ 中学生の参加を募り、資機材を出すところから避難所の設営までを実施する。
- ・ 体育館内に椅子を配席する。※土足でも上がれるようロールマットまたは靴カバーを使用する。(学校判断)

【13：30】 授業開始

【13：35】 授業の趣旨をオンライン説明

- ・ 中学2年生の生徒の中から避難所運営スタッフ役（10人）及び負傷者避難者役（10人）を20人募る。人数多数の場合は、関係者が振り分けを臨機応変に行う。
- ・ 選任された中学生は、体育館に集合。避難所運営内容及び負傷者避難者役にレクチャーを行う。避難所運営者にはビブスを配布し、負傷者避難者役には症状プレートを差し込んだビブスを着用する。

【13：50】

- ・ 避難所運営スタッフ役中学生（10人）及びイレギュラー避難者役中学生（10人）が地震体験車を体験。その様子をオンラインで配信。※介護・介助者と避難者、最後の搭乗者が完了し中学生訓練（避難）開始

【14：10】

- ・ 生徒及び地域関係者が避難を開始する。(教室及び屋外から)
- ・ 自主防災隊（団）員は、安否確認、避難誘導を実施する。
- ・ 安否確認はスーパーマップルを活用し、共有情報可視化を図る。
- ・ 雲雀ヶ丘公園に軽症者数名一時避難しているため、中学生数名とともに避難誘導、介添えにて避難。※体育館に避難してきた中学生を救助者に選任して協力する。
- ・ 本荘中学校周辺住宅（事前調整）を訪問し、自主防災隊（団）員等により避難。
- ・ 安否確認の状況をリアルタイムに体育館に配信し、情報共有を図る。
- ・ QRコード読み取りによる避難者管理 ※スクリーンに投射して情報を可視化し共有する。
- ・ 応急救護所内での中学生の手助け※防護服を着用する。
- ・ 簡易トイレの業者説明※機能のみではなく、設置する環境等の注意点を説明予定

【14：45】全生徒避難、着席完了

- ・ 避難所運営中学生及び負傷者役中学生等からコメント
- ・ 関係団体から気付きのコメント

- ・ 終了後、講演準備、場面転換

【15:05】岐阜市民病院 心臓血管外科部長 災害医療部長 様 より講演(約25分)

- ・ 訓練を通じて感じたこと
- ・ 災害時の本荘中学校の役割について
- ・ 地域との連携について、救護所と避難所の両立について
- ・ ドローン映像から考える市民病院周辺地域の特性について 等

【15:30】岐阜大学小山研究室より講演及びヒアリング(約15分)

- ・ 訓練を通じて感じたこと
- ・ 災害時に取るべき行動にできること
- ・ ハザードマップから考えること 等

【15:45】資機材撤収解散

- ・ 災害用備蓄品(アルファ化米おかゆ)を配布予定 ※一覧表を掲示する。